

そうだったのか！ 周辺症状の成り立ちと向精神薬の怖い話

認知症の周辺症状の発生機序と症状に対する具体的対応方法、症状を鎮静する向精神薬の怖さについて理解しましょう。

- 周辺症状の成り立ちは大きく2種類
- 暴言・暴力 □夜間せん妄 □徘徊
- 帰宅願望 □被害妄想 □異食症
- 性的異常行動 □入浴拒否 □常同行動
- 尿失禁・弄便 □幻覚・幻聴
- 無反応(アパシー)
- 向精神薬は作用も強いが副作用も強いなど

講師

鈴木医院 神経内科医師
認知症サポート医

木原 幹洋 氏



●プロフィール

アメリカの病院ランキングトップの総合病院である
メイヨークリニック(Mayo Clinic)出身。

開催日時

令和5年 9月 1日(金) 18:00~20:00

形式

ZOOMによるオンライン形式

定員

50名

対象

台東区内介護サービス事業所 職員

申込締切：令和5年8月11日(金) 必着

～お申込み方法～

台東区ホームページに掲載の『受講申込書 入力フォーム』より各項目を入力して確認ボタンを押下すると
申込できます。

申込は事業所ごとに入力のうえ、お申し込みください。推薦人数は原則、1事業所あたり2名とします。

【掲載場所】

台東区トップページ>健康・福祉>高齢・介護>介護保険事業者向けサービス>令和5年度 介護サービス
事業者研修(専門力向上研修)

お申込方法につきましては、必ず開催通知をご確認下さい。

お問合せ◆◇ 台東区福祉部介護保険課事業者担当 ◆◇ 担当:塚越・関根 ☎ 03-5246-1243

▽必ずお読みください▽

Zoomによる研修受講にあたって

◆用意するもの

- ①インターネットに接続できるパソコン、タブレット、スマートフォン（ノートパソコン推奨）
- ②イヤホン（なくても構いませんが、イヤホンを使用した方が音声聞き取りやすいです。）
- ③参加用ミーティングID・パスコード
（8月25日（金）以降にメールでお送りします。8月28日（月）までにメールが届かない場合は、お電話でご連絡ください。）
- ④研修資料（③のメールで資料を添付して送信します。）

◆注意点

- ・インターネットに安定して接続できる場所で受講してください。
 - ※有線LANでの受講を推奨しております。無線LAN、ポケットWi-Fiでの受講も可能ですが、通信環境によっては接続が切断されたり、講義等が聞こえづらい場合があります。公衆Wi-Fiへの接続はお控えください。通信費用については、受講者負担になります。
 - ・スマートフォン、タブレット端末では、電池の消耗が激しいためパソコンでの受講を推奨します。
 - ※スマートフォン、タブレットの場合、受講前にバッテリーを100%にしておく等の準備が必要です。
 - ・個室等集中できる場所で受講してください。
 - ・カフェや公共の場からの参加はお控えください。
 - ・予め、ウェブサイトからZoomのダウンロードをお願いします。Zoomの使用については無料です。
- なお、Zoomのアカウント取得は不要です。
- ※ただし、研修に参加する場合はミーティングID・パスコードを入力後、名前の欄に**受講No.と受講者名**の入力をお願いします。
 - ・Zoomの利用が初めての方は、事前にZoomに接続できるURL:<https://zoom.us/test>にて接続テストをお願いします。
 - ・研修当日は、研修開始時間の**60分前**からZoomへの入室が可能です。時間に余裕をもって準備をお願いします。

◆介護支援専門員研修等受講カードについて

本研修は「介護支援専門員研修等受講カード」対象の研修ですが、今年度もカードの押印を行いません。代わりに、受講終了後アンケートを提出していただき、受講したとみなされることで『研修受講記録』を発行します。研修受講履歴の管理を各自で行ってください。

◆研修受講記録について

受講終了後アンケートを提出していただき、受講したとみなされた受講者に発行します。

◆アンケートの提出について

上記③のメールにアンケート入力のためのURLも一緒にお送りします。

受講終了後、9月7日（木）までに、必ずご提出ください。